

平成29年4月3日
住友生命保険相互会社

平成29年度入社式 社長あいさつ（抜粋）

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博）は、625名（総合職員133名、一般職員87名、総合営業職員405名）の新入職員を迎え、4月3日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

＜一人称の“I”で考え、行動せよ＞

皆さんは社会人となり、これから多くの人に出会い、学ぶ機会がある。いつまでも今のフレッシュな気持ちを大切に、新しいことを吸収し、自らの成長につなげて行ってほしい。その際大切なのは、自分の頭で考え、自分から動くこと。人生の新しいステージに立った今日この日を、一人称の“I”で考え、行動する出発点にしてほしい。その際に重要となる3つの“I”は、

①IDEAL：理想を持つ

当社は今年でちょうど創業110年。創業者は「理想の会社を創ろう」という志を掲げて会社を立ち上げた。110年の歴史の中では、戦争やバブル崩壊など、幾度も困難に直面してきたが、職員一人ひとりが積極果敢に挑戦し、新しい道を切り拓くことで壁を乗り越え、発展し続けてきた。職員が大切にしている姿勢・精神は、当社の経営理念を表わした「経営の要旨」の中で、「進取不屈の精神」として明確に謳われている。皆さん自身も常に理想を持ち、理想の姿を目指して行動してほしい。

②INNOVATION：革新に挑戦せよ

生命保険業界は「激動の時代」に直面しているが、当社は未来を創り出すための新たな挑戦を続けている。「働けなくなるリスクに備える生活保険」をコンセプトとした「1UP」の発売、銀行窓販等の代理店チャネルや子会社のメディケア生命を通じた事業展開、そして海外事業。さらに昨年7月には、南アフリカの金融サービス会社Discovery Ltd.、ソフトバンク株式会社と提携し、「健康増進型保険」を通じて健康長寿社会の実現を目指す「Japan Vitality Project」をスタートさせた。新しい未来を今後も創り出していくためには、皆さんのような新鮮で新しい力が欠かせない。自らが先頭に立つという気概をもって、当社に革新を作り出してほしい。

③INTEREST：相手に関心を持ち、人との関係性を大切にせよ

皆さんの世代のコミュニケーションはメール等が一般的かもしれないが、そのような時代であるからこそ、人から人に、心を添えて直接伝えることが大切。当社は、「人が人を支える」という価値を大切にしており、この伝統は時代が変わっても変えるつもりはない。皆さんも常に「人」に関心を持ち、長年に亘り築き上げてきたこの伝統をしっかり受け継ぐとともに、皆さんの手で更に発展させてもらいたい。

これら3つの“I”を大切にしながら、自分を信じ、仲間を信じ、未来に向け果敢に挑戦してほしい。当社の新しい未来をともに創っていこう。

以上